

12月定例議会を12月2日から3日まで開きました。

条例の改正、補正予算などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。

条例廃止

住民投票の取りやめ

賛成多数で可決

平成25年12月定例会において全会一致で可決し、その後数回の改正により「平成28年3月31日」までの期限となっていた「庁舎建設場所について町民の意思を問う住民投票」について、議員から条例を廃止する議案が提出されました。



ここで決まりか？

採決の結果、賛成多数で可決したため、条例は廃止されました。（5ページに関連記事があります。）

討論

反対討論

廃止するならば、これまでの経緯を踏まえ、庁舎建設特別委員会において慎重に審議するべきである。
西山 勝子 議員

賛成討論

これ以上町の状況を長引かせることは、町政の混乱につながる。条例は一旦廃止し、ゼロに戻すべきだ。
佐中 十九昭 議員

賛成討論

庁舎移転先に関する意思是、議会と新町長で共通しているため、住民投票を行う必要はない。
下岡 憲国 議員

賛成討論

公民館跡地が役場の移転候補先になる可能性もある。移転先がより柔軟になることを期待し賛成する。
宮坂 二郎 議員

議長不信任 決議案を可決

議員から、議会運営上問題があるため、議長不信任決議案が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。なお、この決議に法的拘束力はありません。

討論

反対討論

町と議会が互いに海田を盛り上げていくとする今、町政を混乱させることが町民の不信を招く。
宮坂 二郎 議員

賛成討論

議長は町政停滞の早期解決に向け、事態収拾に乗り出す責任があったが、行動しなかった。
下岡 憲国 議員

反対討論

議長裁決により条例を可決したことは認められていることであり、不信任の理由には当たらない。
大江 康子 議員

賛成討論

度重なる不信任案の提出など議会の混乱を収めることも重要な役目だが、議長は何もしていない。
住吉 秀公 議員

決算

平成26年度決算認定 賛成多数で可決

次の二つの会計の決算認定に対し、反対する討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

一般会計

反対討論

今回の決算は、消費税増税に伴い、公園使用料や駐車場使用料などの料金の見直しを行っており、町民の生活に直撃するものであるため、認められない。
佐中 十九昭 議員

水道事業会計

反対討論

人間が生きていく上で、水と空気は欠かせないものである。消費税を機械的に引き上げたことによる増税分の収益を認めるわけにはいかない。
岡田 良訓 議員

条例制定・改正

マイナンバー制度 関連議案を可決

平成28年1月より行政機関によるマイナンバーの利用が開始されることに伴い、関係する条例の制定と改正が行われました。

税条例の改正

地方税における猶予の見直しを行い、法人番号の届出を不要としました。

反対討論

個人情報報を一元化してしまうと情報流失のリスクが増加する。本格運用が始まる前に凍結・中止をするべきだ。
佐中 十九昭 議員

国民健康保険税 条例の改正

申請書類にマイナンバーを記載するようにしました。

反対討論

この制度に信頼はなく、これを許せば国家によって国民が徹底管理されるようになる。このような制度は直ちに中止すべきである。
岡田 良訓 議員

個人番号の利用及び 特定個人情報提供に 関する条例の制定

法定事務に限り、町長部局と教育委員会の間で特定個人情報の連携ができるようにしました。

反対討論

整備が十分かつ不透明である。国民にとってマイナンバーを利用することにメリットはなく、デメリットしかない。
佐中 十九昭 議員

町長就任後初めての 定例議会での 所信表明（抜粋）

町政運営に当たっては、寄せられた信頼と期待に応えるべく、まちづくりは、住民の目線からの発想を基本に、皆さんの参画と協働を得て、進めなければならぬと考えている。
合併当時（東海田町と海田市町）から駅周辺に位置する庁舎を、町のほぼ中央に位置する広島県海田庁舎の跡に移転させることに町民の理解を得たと考えている。速やかに実現に向けて進めていく。



この中店第一踏切は廃止予定です

議 決
広島市東部地区
連続立体交差事業の
見直しの方向性に
ついての意見書

賛成多数で可決

内 容

- ①呉線沿いに新たにできる大正矢野線の幅員を8 m程度に拡張するよう検討すること。
- ②新町踏切または海田市駅東側の二つの踏切いずれかについては、消防自動車のはしご車が安心して往来できる高さ3.8 mを確保するよう検討すること。

③事業を1日も早く完成させるため、山陽本線を更に300 m延伸することを求める要望は撤回する。

Q 提出先はどこか。

A 関係機関に提出する。

反 対 討 論

6月16日に特別委員会では出された300 m延伸の要望は、町長や町執行部に対してである。県や関係機関に対し、議会として新たな意見書を提出する行為はかえって事業の遅延になると懸念する。

兼山益大議員

議 決
ウイルス性肝炎
患者に対する医療費
助成の拡充を求める
意見書

全会一致で可決

内 容

現在は対象となる医療が限定され、助成対象から外れている。肝硬変を



卒業式に間に合います

補正予算
一般会計
道路修繕などに
総額6784万円

町内水路修繕・浚渫しゅんせつ
河川修繕 360万円
町内道路修繕 900万円

PTAや自治会などからの要望に対応するために水路修繕・浚渫費用などを増額しました。

海田東小学校放送設備修理 100万円
海田中学校どんちゅう綴帳修理 200万円

卒業式までにそれぞれの学校体育館の放送設備・綴帳を修理します。

マイナンバー制度導入 55万円

事務に係る費用を増額しました。

反 対 討 論

一部がマイナンバー関連の事業費・委託料となっており、マイナンバー制度を実施に移すものであるため反対する。

岡田良訓議員